

## 第2回大淀町総合教育会議 会議録

1. 日 時 平成28年2月23日（火）14:00～15:00

2. 場 所 大淀町役場 202会議室

3. 出席状況

大淀町長	岡下 守正
教育委員長	霜辻 美保
教育委員長職務代理	竹内 元章
教育委員	下西 佳行
教育長	水掬 義朗

4. 会議の内容

総務課長 : 開会宣言

町 長 : あいさつ

学務課長 : 第3回教育サミットで示された奈良県教育振興大綱（素案）について説明

教育長 : 第3回教育サミットにおける意見交換会について説明

町 長 : ただいまの説明に関しましてご質問等ございませんか。

委 員 : 第1回・2回の教育サミットの内容は？

教育長 : 第1回目は、教育委員会制度の改正について説明がありました。そして、第2回目は、奈良県教育振興大綱の策定に向けての、日程等の説明がなされました。また、先日の第3回教育サミットでは奈良県教育振興大綱の素案が示されました。

委 員 : 食育は、単に栄養を摂取するだけでなく、生きる力を育むもので大変重要であると思います。

委 員 : 今回の教育サミットで示された15項目に本町の現状を重ねあわせて、本町の教育大綱の骨子を作ってゆくべきであると思います。

- 教 育 長 : 大綱については、先の教育サミットで協議された3項目を中心に議論を深めてゆくことで、一層明確な課題と対策が見えてくると思います。
- 町 長 : 教育は、就学前教育と食育につきると思っております。また、第3回教育サミットにおける3つの検討項目は、私が日ごろからずっと思っていることでもあります。
- 町 長 : 先日のフォーラムでもありましたが、就学前教育は、子どもだけでなく、その親に対する教育も必要であると思っております。
- 町 長 : 大淀町は0～6才児が人口の5%を占めており、530名おります。それぞれ、保育所、幼稚園があるわけですが、その時期には生きることの大切さを教えるのが一番大切であると思っております。また、規範意識の低下も、その時期の教育に起因するケースが多いと思っております。そのような点からも、先の教育サミットで議論された3つの課題を、本町の大綱に盛り込むことが必要であると思っております。
- 教 育 長 : 本日、就学前教育に関係する会議がありましたが、その中でも食生活の基本的習慣の大切さが取り上げられておりました。また、就学前教育と同時に親に対する教育も、平行して今後は進めてゆくことの大切さも取上げられておりました。今の親は、価値観が非常に多様化しておりますので、そのことを考えた上で教育を進めていかねばなりません。いずれにしても、土台になるのは就学前教育であるとのお話がありました。
- 委 員 : 教育の一番大切なところは、指導者がいかに、子どもたちの個性を捉えて対応できるかであると思っております。大綱の中でも漠然と項目をあげるのではなく、課題に対する具体策を明記する必要があると思っております。つまりいた、子どもを見捨てない、置き去りにしないことが肝心であると思っております。そこに教師が目を向けることが大切であると思っております。大綱とは、そういうことに気づかせる道しるべのようなものであると思っております。
- 町 長 : 正しい生活習慣を身につけておれば学力も向上すると思っております。また、興味をもたせる教育が大切であると思っております。興味を持てば教えを請うようになり、理解できるようになり、どんどん伸びてゆきます。どのようにして、興味を持たせるかが重要であると思っております。仕事も同じであると思っております。
- 委 員 : 家庭教育が、十分でない現実がある。親の言うことを聞かない子どもが多くなっているが、親としてはどうすれば、子どもが受け止めてくれるのか、興味を持ってくれるのか、考えなければならぬと思っております。
- 町 長 : 子どもが、人の言うことを受け止め、興味を示すようになるための基礎を作るのが、就学前教育であり、それに尽きると思っております。

- 委員 : 現実問題として、大淀東部幼稚園、大淀西部幼稚園の園児が少なくなり、維持するのが精一杯の状態であると思います。文部科学省は認定子ども園を推進する方向であります。大淀町の場合は果たしてそれでいいのでしょうか。私は、今の状態を保つべきであると思っております。大淀町では私立に子どもが流れる率が高いんですが、下市町では逆に公立の幼稚園へ通う子どもが増えていきます。奈良県では、働いているお母さんが全国的に見ても非常に少ない現実があります。公立の幼稚園へ行けるのに私立の幼稚園に行っているのが現実であると思います。就学前教育の重要性を考えると公立の幼稚園の持っている意味は非常に大きいと思います。具体的な話になりますが、現在公立幼稚園は4時間以外に2時間の延長保育をしています。しかし、夏休み期間中にそれができないために、公立幼稚園に預けることが出来ない家庭があると思います。夏休み期間中の延長保育の実施が公立幼稚園の存続に関わるとは思いますがいかがでしょうか。
- 教育次長 : 長期休業中については、昨年からは何日間か預かり保育を実施しています。夏期期間中は、職員の研修であったり、協議会がもたれたりしますので、日数を限定しないと出来ないのが現実です。
- 教育長 : 幼稚園と保育園とは入園の条件が異なっており、共稼ぎの家庭にとっては保育所以外に選択の余地がない現実があります。また、子どもの出生数も10年前には年間230人であったのが100人を割っております。あと10年もすると、60人とか70人になるでしょう。確かに、幼稚園の存続は危惧されますが、幼稚園と保育所の教育、保育の時間を一緒にするのは、いろんな課題があり、今後十分検討する必要があると思います。
- 委員 : フルタイムで働く親にとっては、長期休業中に預かってもらえない幼稚園には入園できない現実があります。就学前教育の重要性から幼稚園の意義は大きいと思います。また、大淀西部幼稚園幼稚園は、災害時の避難場所として位置付けられており、地域とのつながりがあり非常に重要な施設であると思います。人の手立ても含めて考える必要があると思います。
- 教育長 : 就学前教育、地域との連携、親子の関わりは全て関連することであり、一つに集約できると思います。今後の課題に向けて話を広げていただいたらどうかと思います。教育長の立場としては、それをもとに施策を実行して行く為に、多くのご意見をいただきたいと思っております。
- 委員 : 文化事業に関する事なんですが、町としてもっと積極的に取り組んでゆく必要があると思いますが、いかがでしょうか。
- 町長 : 郷土教育が大切であるにもかかわらず、桧垣本座の講演に桧垣本の人あまり来ない。まず、地元で盛り上がる必要があると思います。
- 委員 : 学校の先生や、町の職員にも積極的に参加して欲しいと思っております。

- 町 長 : 大淀町が存続する意味においても、郷土教育は大変重要であります。本日の3つの検討項目は2つにしぼれるのではないかと思います。また、大淀町は学力が低いといわれますがなぜかわかりますか。
- 委 員 : 教師の資質、家庭の問題、町全体としての取組が不足していると思います。
- 教 育 長 : 生きる力の中に、学力、体力、食育があり全てが大切であり、バランスよく育まれなければいけません。
- 委 員 : 大淀町は特に学力が大事です。
- 教 育 長 : 学力向上は学校が担っております。理解できる子、出来にくい子、いろいろな子どもがいますので、それぞれに応じた配慮が必要であります。
- 委 員 : 学力が低いと、大淀町で住みたい思っても不安になると思います。学力の向上は定住促進にも大きく関わると思います。そのためには、学校だけでなく家庭も協力して取組む必要があります。学力向上推進委員会ぐらい立ち上げて取組む必要があると思います。
- 町 長 : 大淀町は、出来る子ども、出来ない子どもが2極化しています。
- 教 育 長 : 学力の低下は家庭であったり、環境が影響する場合もあると思います。しかし学校の使命として、取組んでゆかねばならないと思います。また、学力向上検討委員会は大淀町でも設置しております。現状を分析して、来年度に生かすことを検討しております。
- 教 育 次 長 : 広報に掲載した内容も、検討委員会でまとめて載せております。委員会を構成するのは、校長を含めて学校の教員です。
- 教 育 長 : 学力向上検討委員会は、分析を行うだけでなく課題を見いだし、何に取組むかを明確にしております。ここ2年ほどは、放課後に理解できない生徒に対して補習授業をおこなっております。
- 委 員 : 家庭の教育力を高める必要があります、高めるために町全体で取組む必要があります。
- 町 長 : 貧困が、学力の低下に関係しているとのデータがあるようですが、どうなのでしょう。大淀町でも、一人親家庭が増えており、一般家庭よりも経済力が弱い場合もあると思います。学力向上検討委員会でも、分析していただいて、課題を明確にして取組んでいただきたいと思います。

- 町 長 : 本日は、主に就学前教育、食育、学力に対して意見が出されました。次回の会議においても、この3点に絞って進めていきたいと思いますが宜しいですか。次回は、もっと具体的な意見交換をしたいと思いますので宜しくお願いいたします。
- 教 育 長 : 学力も大事ですが、体力の向上も大切な項目であり、以前には大淀町の取り組みが賞賛されました。とにかく、取り組めば結果がついてくると思うので、まず取り組むことが大切であると思います。どのように取り組むのか、我々取り組む立場からは、皆様のご意見を聞かしていただきたいと思います。また、そのことは、大淀町の教育の方向性として大綱において柱立ててゆく必要があると思います。
- 町 長 : 本日は、私も教育委員会の一員のつもりで意見交換をさせていただきました。今後も、協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。それでは、本日は、この辺で終わりとさせていただきます。
- 総 務 課 長 : これを持ちまして、第2回大淀町総合教育会議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

( 1 5 : 0 0 )

## 第2回大淀町総合教育会議 検討資料

### 奈良県教育振興大綱（素案） 第4章施策の基本的方向性

	項 目
1	<b>乳幼児期教育の充実</b>
2	義務教育の充実
3	高等学校教育の充実
4	大学教育
5	特別なニーズに対応した教育の推進
6	規範意識の向上と地域ぐるみで課題に取り組む仕組みづくり
7	<b>地域への誇りと愛着を抱き、地域と協働し、地域・社会に貢献する人材の育成</b>
8	いじめや不登校など生徒指導上の諸課題への取り組みの徹底
9	人権教育の推進
10	<b>健やかな体の育成と生涯スポーツの推進、青少年の健全な育成</b>
11	世界に伍して活躍するグローバル人材の育成
12	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育・職業教育、就労支援の充実
13	意欲ある全ての者への学習機会の確保
14	教職員の資質・能力の向上
15	安心・安全で質が高い教育環境の整備

### 検討項目

1	<p><b>乳幼児期教育の充実</b></p> <p>人格形成の基礎を培う乳幼児教育</p> <p>家庭の教育力を強化し、子育て世帯の負担感を軽減する。</p>
7	<p><b>地域への誇りと愛着を抱き、地域と協働し、地域・社会に貢献する人材の育成</b></p> <p>郷土教育の充実（地域の歴史、文化、伝統の理解）</p>
10	<p><b>健やかな体の育成と生涯スポーツの推進、青少年の健全な育成</b></p> <p>食育の推進（食を通して人間として生きる力を育み、心を安定させる。）</p> <p>体力・運動能力・運動意欲向上の取組（子どもの2極化解消）</p>